

Environmental Activity Report

環境活動レポート2016



株式会社マリノ

発行日 2017年7月1日

<http://www.marino.co.jp>

会社概要

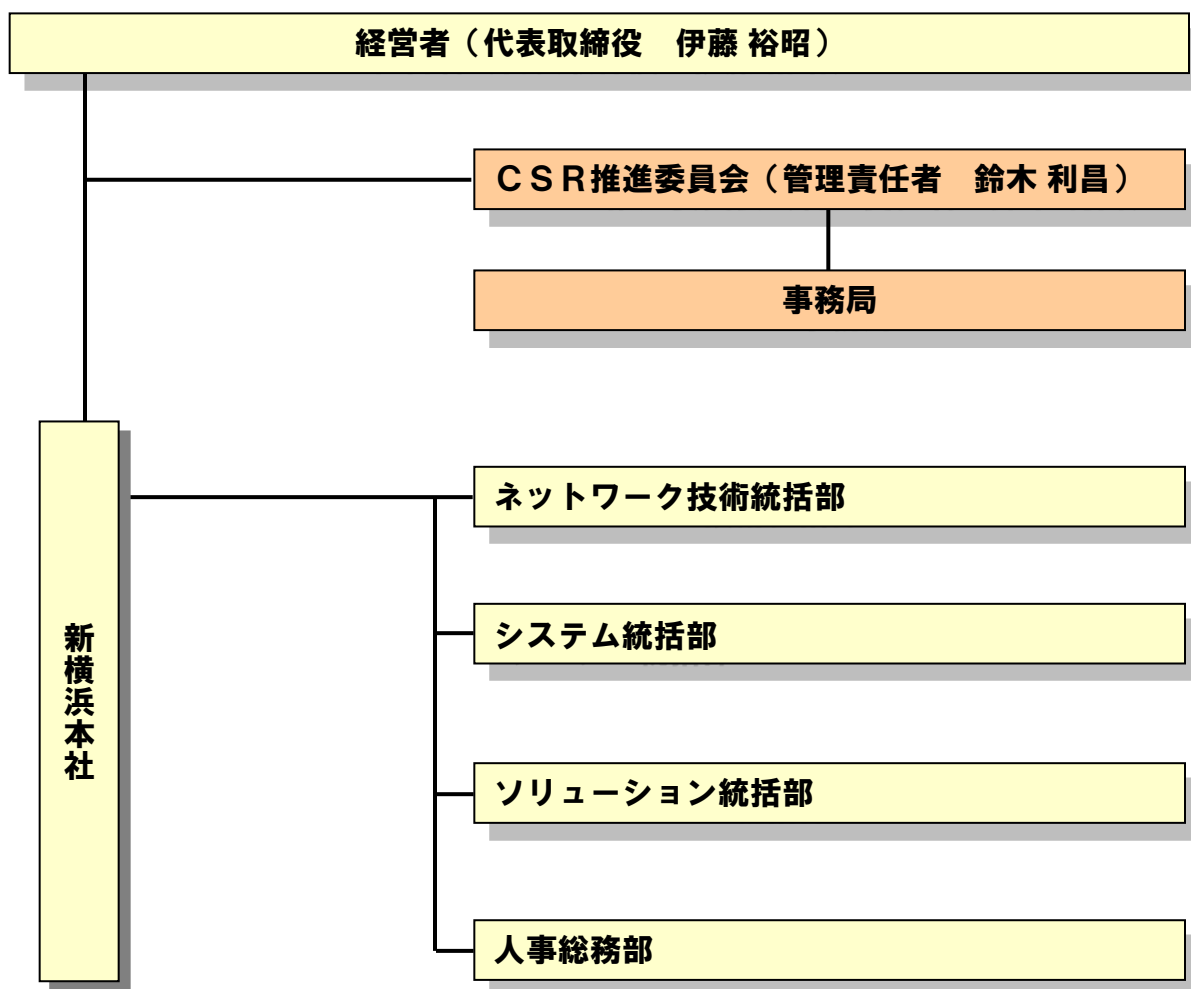
【会社名】	株式会社マリノ
【代表者】	代表取締役 伊藤裕昭
【資本金】	3,000万円
【社員数】	78名（2017年3月末現在）
【設立】	平成6年4月
【所在地】	新横浜本社 横浜市港北区新横浜二丁目2番地8 新横浜ナラビル4階、9階 延べ床面積 4階 403.37㎡（122.01坪） 9階 104.97㎡（31.75坪）

事業内容

当社は、コンピュータを核とした専門知識、高度な技術力、先見性でソフトウェアの開発から各種サービスまで、お客様のニーズに応える幅広い提案、提供を行っています。主な業務内容は以下のとおりです。

- ・ネットワーク機器およびデジタル家電用ファームウェアの開発
- ・インフラシステムの設計／構築および運用／保守
- ・モバイルコンテンツの開発／運用／保守

環境取組み体制



連絡窓口：人事総務部
電 話：045（476）2136
FAX：045（470）2155
メール：g-a-dep@marino.co.jp

報告対象事業所と期間

事業所：新横浜本社

期 間：2016年度（2016年4月1日～2017年3月31日）

当社は以下の「環境方針」を定めて、環境保全活動に取り組んでいます。

環 境 方 針

マリノは、コンピュータを核とする専門的な知識や高度な技術力と先見性をもって、システムやソフトウェアおよび各種サービスを提案、提供し、様々な顧客に満足していただくことを目指しています。

私たちは、この事業展開を行っていく中で資源の有効活用と環境保全活動を併せて行うことの重要性を認識して、社内全員参加による環境保全活動を継続的に実施していきます。

以上の実現を目指して

1. 企業活動において環境関連法規制、条例、その他の要求事項を順守します。
2. 企業活動においてグリーン調達、省エネルギー、省資源、リサイクル活動に積極的に取り組みます。
3. 環境目的、目標を設定し、それを社員全員に周知して継続的な改善に努めます。
4. 社員の全員参加による環境保全活動を推進し、環境方針を社内外に公開します。

2016年4月1日
株式会社マリノ
代表取締役

伊藤 裕昭

主な環境負荷の現状

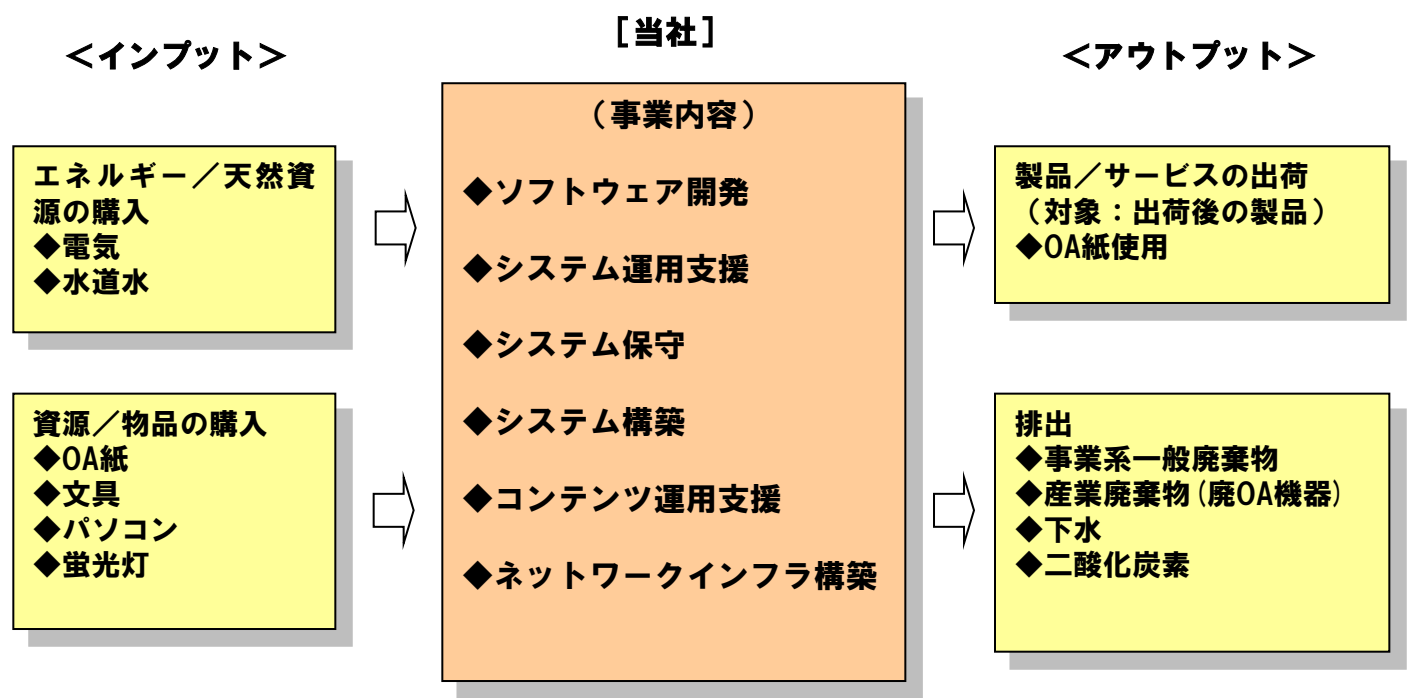
当社の環境負荷の自己チェックの結果は以下のとおりです。

年度	電力使用		水道 使用量 (m³)	OA紙 使用量 (枚)	事業系 一般廃棄物 (Kg)	産業 廃棄物 (Kg)
	使用量 (KWH)	CO2排出量 (kg) *1				
2015	81,617	37,789	529.0	30,000	797	0
2016	81,965	37,950	452.0	25,000	801	1,870

*1:二酸化炭素排出係数=0.463として換算（H23 東京電力）

当社の環境側面

当社の事業活動における環境側面（インプット／アウトプット）は以下のとおりです。



※当社事業活動において、化学物質の使用はありません。

環境保全活動として、次の項目について目的・目標を設定し、取り組んできました。

項 番	環境目的 (長期・2017年度(3年後)目標)	環境目標 (短期・2016年度目標)
1	売上高100万円当たりの消費電力を 2014年度実績(101.5kwh)から3% 削減し、98.5kwhとする。 (Co2換算46.995kg→45.585kg)	売上高100万円当たりの消費電力を 2014年度実績(101.5kwh)から2% 削減し、99.5kwhとする。 (Co2換算46.995kg→46.069kg)
2	OA紙の使用量を2014年度実績(一人 当たり530枚)から3%削減し、514枚 とする。	OA紙の使用量を2014年度実績(一人 当たり530枚)から2%削減し、519枚 とする。
3	グリーンITの推進：仮想マシンを積極的に導入し、消費電力を削減する。	
4	《維持目標》 文具調達の際は、グリーン調達を心がける。	
5	《維持目標》 生活用水を使用する際には、節水を心がけるよう社内に啓蒙活動を行う。	
6	《維持目標》 ビル管理会社の規定を順守し、事業系一般廃棄物の分別を徹底する。	

■ 3 ヲ年計画（各年度目標）

年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上高100万円当たりの消費電力（実績）	100.5 kwh （98.1 kwh）	99.5 kwh （108.0 kwh）	108.0 kwh （－kwh）
一人当たりのOA紙使用量（実績）	525枚 （650枚）	519枚 （561枚）	514枚 （一枚）

■ 活動結果

項番	実績値	結果
1	売上高100万円当たりの消費電力：108.0 kwh （50.004 k g－Co2）	未達成
2	年間OA紙使用量：561枚／人	未達成
3	グリーン調達：89.2％	達成
4	水道使用量：452m ³	達成
5	ゴミの分別：適切に実施	達成

環境目標達成の施策

以下の活動計画に基づき、環境活動を行いました。

項目	具体策	達成状況	次年度の取組
1. 消費電力の削減 （二酸化炭素の削減）	退社時には照明のブロック毎の消灯を徹底する。	△	継続
	不要な蛍光灯を間引きする。	○	継続
	退社時には不要な機器類の電源断を徹底する。	○	継続
	退社時にはモニタの主電源を切ることを徹底する。	○	継続
	最終退社者は上記項目をチェックし、最終退社チェック表に氏名を記録する。	○	継続
2. 使用OA紙の削減	印刷時の両面印刷および複数ページレイアウト（2in1）の徹底	○	継続
	FAXの紙出力停止（PDFファイル化）	○	継続
	打ち合わせ時のプロジェクターの活用	○	継続
	打ち合わせ等で配布する資料の部数を事前に把握し、無駄な印刷を削減する。	○	継続
3. グリーンITの推進	従来型デスクトップPCからノートPCへの切り替えを行う。	○	継続
	社内サーバーの仮想化を行う。	○	継続
4. グリーン調達の徹底	文具などの購入時には、グリーン商品の選定に努める。	○	継続
5. 水道使用量の削減	主な用途は生活用水のため、節水を心がける。	○	継続
6. 一般廃棄物の分別	ビル管理会社の規定を順守し、事業系一般廃棄物の分別を徹底する。	○	継続

活動計画にあげた具体策の実行につきましては、適切に実行されました。

総消費電力は前年とほぼ同量となりましたが、売上高の減少に伴い目標に挙げていた売上高100万円当たりの消費電力は目標としていた数値を上回ることができませんでした。

<消費電力>

- 売上高100万円当たりの消費電力：108.0kwh（前年比10.1%増加）
- 年間総消費電力：81,965kwh（前年比0.4%増加）
- Co2排出量：37,950kg-Co2

<OA紙使用量>

年間OA紙使用量：561枚／人（対目標比108.1%）

※本社従事者数一人あたり

プロジェクターの活用（紙面での資料配布の廃止）、両面／複数レイアウト印刷、プレビューの活用、FAXのPDF化などの継続した取り組みを実施しました。

過去数年間継続した取り組みのため、目標値は達成することができませんでした、対前年比では13.7%削減することができました。

<グリーンITの推進>

年間消費電力削減量：4,307kwh

①ノートPCの積極導入

旧型パソコン（主にデスクトップ）から新型ノートPC への入替を実施しました。
ノートPC 1台当たりの電力削減量を50whと仮定すると360kwhの削減効果がありました。

$$50wh \times 3台 \times 10時間 \times 240日 = 360kwh$$

②社内サーバーの仮想化

社内で稼働しているサーバーの仮想化を実施いたしました。

サーバー1台あたりの電力削減量を150whと仮定すると6,570kwhの削減効果がありました。

$$150wh \times 3台 \times 24時間 \times 365 = 3,942kwh$$

<節水活動>

水道水年間使用量：452 m³

前年度使用量529m³と比較し、▲14.6%と大きく削減させることができました。

《代表者による評価》

株式会社マリノは社会の一員としてCSR（企業の社会的責任）活動を通じて、環境マネジメントシステムに取組むことは、会社の重要な責務であると考えております。

当社では、環境への取り組みを始めてから12年が経過し、年を追うごとに社員一人ひとりの環境保全への認識や関心、配慮が高まってきました。

総電力消費量は、前年度とほぼ同量となりました。各種取り組みの実行が定着してきたと評価しております。

今年度は1870キロの産業廃棄物を排出いたしましたが、許可事業者により適切に処理されたことをマニフェストにて確認いたしました。極力ゴミの排出量を削減できるよう引き続き3R（Reduce / Reuse / Recycle）を意識して事業活動に取り組んでまいります。

また、維持目標に設定している「グリーン調達」や「節水」、「ゴミの分別」などの活動に関しても適切な取り組みが実行されております。

今年度の活動結果を踏まえて、PDCAサイクルを確実に実行し、今後も更なる削減に向けて、努めてまいります。

環境コミュニケーション

今年度は、顧客からの調査依頼はありませんでした。また、苦情やクレームもありませんでした。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される法令には廃棄物処理法、資源有効利用促進法、神奈川県生活環境保全条例などがありますが、遵守評価の結果、違反事項はありませんでした。

環境関連法規を適切に遵守できたものと評価します。

また、関係機関等からの法規制違反の指摘および訴訟などの請求は過去3年間ありません。

次年度の取り組み（２０１７年度）

次年度は、消費電力、OA紙使用量の目標に継続的に取り組むとともに、業務の効率化や生産性の向上を目指し、様々な取り組みを行います。

そのためには、社員一人ひとりの環境への意識をさらに向上させる必要があり、環境マネジメントシステムのPDCAサイクルをしっかりと実行していくことを目標とします。